

静寂の山の中で、川は流れる

川上村は、吉野川(紀ノ川としても知られている)の最上流にひっそりと佇んでいる。そこは、吉野川がまだ川と呼べるほどには至っていない高い場所である。代わりに、数十の溪流が、広葉樹の原生林を流れ落ち、冷たく澄んだ水が勢いよく流れ続けている。川上村は、深い渓谷と豊かな森、広大な見晴らしと古代の鍾乳洞がある村である。何よりも、この地に住む人々は、自分たちを取り囲む自然の美しさと、それを守る責任について深く理解している。

川上村の歴史は林業とともにあった。500年にわたり、この地域で有名な強くて傷のないスギ材を提供してきた。この村には国内でも最古の人工林があり、樹齢400年の杉が静かにたたく。村人が森林資源を大切に育んできたことを物語っている。地元の林業は、木材の量よりも丈夫さと美しさを優先させ、地元の芸術家たちはその木材を独創的な手工芸品に仕上げている。

川上村の人々にとって、自然教育、特に森林と水の関係についての教育は重要である。この地域では素手でアマゴを捕まえたり、ロープとヘッドランプを携えて洞窟探検をしたりするガイド付きアクティビティが数多く用意されている。もう少し落ち着いたアクティビティとして、山間の温泉でリラックスできるアクティビティや陶芸のワークショップもある。

大和上市駅から川上中心部まではバスが運行しているが、この村は車で回るのが一番である。

レンタカー会社は近隣の街で営業しており、ほとんどの会社が、国内または国際運転免許証

を所持している人に対して車を貸し出している。